

# 錦

錦地域  
まちづくり広報紙  
第26号

平成30年3月16日  
発行責任者 山本直由  
編集 錦広報紙編集委員会

### 錦地域まちづくり協議会構成団体

- 錦地区連合自治会
- 錦地区社会福祉協議会
- 錦体育協会
- 錦地区民生委員児童委員協議会
- 宇都宮市立錦小学校
- 宇都宮市立陽北中学校
- 宇都宮市立錦小PTA
- 宇都宮市立陽北中PTA
- 錦小地域協議会
- 錦地区子ども会育成会連絡協議会
- 錦小子どもの家運営委員会

- 錦地区老人クラブ連絡協議会
- 錦地区自主防災会
- 錦地区青少年育成会
- 錦青年会
- 宇都宮東交通安全協会陽北支部
- 錦地区交通安全推進協議会
- 御用川錦河川愛護会
- 錦地区婦人防火クラブ
- 八坂神社神輿奉賛会
- 錦地域リサイクル推進部会
- 宇都宮市消防団第五分団

## 混ぜればゴミ、 分ければ資源



錦地域リサイクル推進部会  
会長 松本 孝一

私たちの日常生活がある限り、必ずゴミは発生します。このゴミは行政の決めた排出分別のルールに従って排出することになっています。ゴミ収集日の朝6時から7時頃に排出するようにすれば、カラスや犬猫からの被害は減少することでしょう。また、悪臭を放つ原因となる生ゴミは水切りをしっかりと行うことである程度防ぐことができます。

錦地区の皆様にはいつもご協力をいただき誠にありがとうございます。リサイクル推進部会平成29年度事業への取り組みについてご報告させていただきます。

上げられないように重石を乗せることでカラス被害を防げると思います。

②各自治会のゴミステーション改善提案/ゴミステーションの適正な使用を推進するために、各自治会のリサイクル推進員とともに部会役員が各ステーションを巡回し、使用状況の把握と問題点の改善について話し合い、結果を出すよう努めています。平成29年度は9月26日に今泉町5丁目自治会ステーション20か所と、錦西自治会15か所を巡回した結果、特に問題はありませんでした。

## 2 ゴミ分別や資源再生の知識を再確認する勉強会を開催しています

毎年2月に錦地域コミュニティセンター会議室において、錦地区各自治会員が参加して勉強会を実施しています。宇都宮市ゴミ減量課職員の方に講師をお願いし、「ゴミ処理の現状と資源物の分別の仕方」について勉強、再確認をしています。今年は2月17日(土)午後2時より49名の方が参加して、約1時間の内容で開催され、勉強会終了後には「終了証」が配られました。



## 1 清潔なゴミステーションで地域のストレス解消

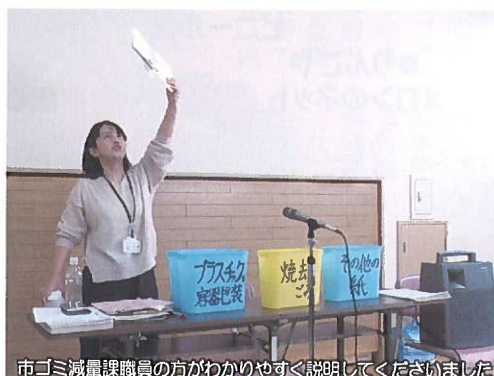
### 環境美化ゴミステーション巡回事業

環境美化に関する事業への取り組みとして、錦地区内のゴミステーションの環境整備を推進し、ゴミの減量化とリサイクルに対する理解を深め、環境美化への意識を高める啓蒙活動を推進しています。

①カラスネット配布/各自治会にカラスネットを配布し、破れ穴あきネットの交換を促進し、カラス被害の防止対策を行っています。また、排出したゴミは必ずネットの中に完全に入れ、ネットを持ち



分別勉強会には地域から49名の方が参加しました



市ゴミ減量課職員の方がわかりやすく説明していただきました



当日参加されたみなさん、お疲れさまでした



回収された廃棄物の一部

### 実施して

町会 会計 小林二美子  
の環境として「不法投棄」11月10日(金)ゴミ回収を図るため、地域内を幸い天気に恵まれ、各自役所よりトングや手袋、き、錦コミセンを中心に側道と河川敷を、御用川をパトロールと清掃を別した結果、目立った物、コーラの空き缶、ペットボトルの蓋は少なくなっ

日本では廃棄物の法律(主に、廃棄物)される(違反して、)以外(主に山中や海、)ない(場所)に廃棄物

ましたが、今回大人用の使用済みオムツを中が見えない濃いグレーの袋に入れポイ捨て状態で田川の側道に、また中今泉踏切付近にも使用したまま捨てられて有り、今まで例のない事、とても残念に思います。これらを含め、回収袋6袋回収しました。

錦地区のゴミが年々少なくなってきたのは、各自治会はじめ諸団体が防犯パトロールを実施しているおかげだと思っております。「いつでも、誰かが、どこかをパトロール」(錦地域まちづくり山本会長談話より)。これからもゴミのないきれいな錦地域を目指して皆さんとともに、推進していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

### 錦文化祭で楽しく覚える「分別クイズ」



「もったいない運動事業」の一環で、毎年錦文化祭の屋外会場「リサイクル教室」で「分別クイズ」を実施しています。大人から子供まで毎回たくさんの方々に参加していただいています。

### 知

### 物

### プラスチック製容器包装

- 薬(錠剤や粉)
- パンのビニール袋
- りんごやパンのネット

### 間違えやすい品目も一度確認しましょう!!

### 焼却ゴミ

- 「紙」
- カップ麺のフタ (裏がアルミ)
- レシートなど 感熱紙
- 年ボールのパッケージ
- プラスチック
- ポリタンク
- プラスチックのおもちゃ (電池は取る)
- 自宅で使用するラップ



校長以下職員37名、20学級、生徒数1,056名でのスタートでした。現在は第25代黒川浩校長以下教職員54名、21学級、生徒数588名、卒業生は24,593名(平成29年3月31日現在)に上り、多数の有為な人材を地域に輩出し続けています。

10月20日(金)には、記念式典(写真)を総合文化センターで行いました。盛大な式を催すことができたのも地域の皆様のご協力のおかげと感謝いたしております。

本校は錦地区に立地している関係上、錦地区の行事に学校として参加する機会も多く、本年度も敬老会にて吹奏楽部の演奏を行いました。中でも顧問の歌う演歌(今年北島三郎の「まつり」)も恒例となり、皆様に好評を博したと聞いています。

中学校は部活動などもあり、地域行事にあまり参加できていないのが現状ですが、生徒たちは参加することの意義は理解しており意欲もあります。学校としても生徒たちが地域に戻れるよう努力していきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いたします。



### 受け継がれる伝統 ~ふれあいハイキング~

錦小学校 校長 福田 順一



本校の児童会行事の自慢のひとつに、縦割り班での活動があります。1~6年生で異年齢集団をつくり、年9回程度の共遊タイム(ロング昼休みに一緒に遊ぶ時間)を設定していますが、メインとなる活動のひとつが、八幡山への「ふれあいハイキング」です。今年度も10月18日(水)、悪天候のため2日遅れて実施しました。

八幡山では、まずリーダーの6年生先導で、班ごとにクイズ問題を探して歩くウォークラリーです。係りが朝早く各所に取り付けた数々の問題は、「校歌の2番の歌詞は?」「八幡山タワーの高さは?」等、みんなで相談して解けるよう工夫されたものばかり。楽しみながら、公園内の地図を片手に一生懸命に歩きました。その後は、お楽しみのおまじないの共遊タイムです。「だるまさんがころんだ」等、思い思いの遊びに汗を流しました。

低・中学年の児童は、「上級生に遊んでもらって楽しかった」「歩くのが疲れた時、手をつないでくれた」と笑顔。一生懸命に準備してくれた6年生に、心から感謝したことでしょう。そして

ます。子どもたちが学校生もさらに努力していきなさい。近年、家庭や地域社会のち大人、地域がもっとも、応援していただくことが大切。そして、子どもたちとの「人間としての生き方」を「社会のルール」がについていくのではないだろうか。

将来、子どもたちがよく生きていくために、地会の一員として、今後、していただきたいと思

### 私たちの老人生活

錦地区老人クラブ連絡協

私たち「錦地区老人クラブ」を豊かにする活動があり、鮎狩りや近隣の観光地を、会員が自由にしゃべりなどウオーキングを通じ多彩です。また、地域いおよび八坂神社の清掃授業に参加して先生のお遊びでは、お手玉・あやと一緒遊びました。3年を昔を思い、炭火でお餅を焼く6年生の「戦争体験」では、

老人クラブは自分たちを支え合って住みよい地域へ急速に進行する今こそ、老いていきます。特に、介護保険法年度までの3年間で、このする訪問介護や通所介護に移行されます。私たち高を抱える一方で、人間関係を様々な福祉・生活課題を抱高年齢者が自主的かつ



10月19日(木) 21日(土)  
錦地区自主防災会  
自主防災会 錦地区  
自主防災会 錦地区

第五分団は、平成30年1月現在、18名体制で主に建物火災の出動、火災予防の広報、消防操法訓練、地域防災訓練の支援の他、宇都宮市の特殊性により、台風等による大雨洪水災害への出動等、水防団としての役割も担い、日々活動しております。

昨今、予測を上回る気象の変化による河川氾濫による自然災害が全国各地で発生しており、特にゲリラ豪雨による河川の氾濫で多くの犠牲が発生したことは記憶に新しいことでもあります。「栃木県宇都宮市は災害が少ないまちだから安心だ」ということはもはや通用しません。今後、いつ大規模災害が発生してもおかしくはありません。その可能性は十分にあるとも言っても過言ではないでしょう。それに対応するためには、地域防災力の向上が必要不可欠であると考えられます。しかしながら、その中核を担うべき若者の域離れと、その背景にある「仕事」のあり方の変化が障害の一因としてあることは否めません。

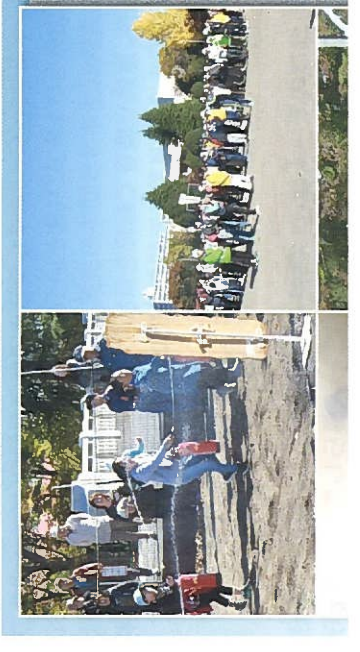
一方、宇都宮市では平成29年4月より、学生消防団活動認証制度を開始しました。これは、将来の地域防災の中核を担う人材の確保を目的とし、市内在住で、消防団員としての消防団活動を行った(1年以上継続的に)学生等(卒業して3年以上の者も含む)を対象に消防団員として、社会貢献に努めたことを評価した市長認証の証明書を交付し、就職活動時に企業に提出し、アピールすることで、企業の災害対応力の向上に繋がることが期待できるものであります。

我が第五分団員も定数を割っており、人員の確保とさらなる防災力の向上がもたれられております。錦地区の皆様におかれましては、日頃からご支援いただいているところではございませんが、今一度、消防団員の確保にご協力いただけますようお願い申し上げます。

地域防災のお手本になれるよう努めてまいりますので、今後とも消防団第五分団をよろしく願っています。

宇都宮市消防団第五分団 分団長 飯野 伸次  
代 筆 部 長 足利 涼

# 錦地区防災訓練



錦地区自主防災

5. AED(自動体外)
6. の扱い方
7. 水防工法訓練
8. バケツリレー
9. 等、各班に分かれ
10. 当日は好天に恵ま
11. 275名が参加し
12. 平成30年度は11月
13. 多くの皆さんの参

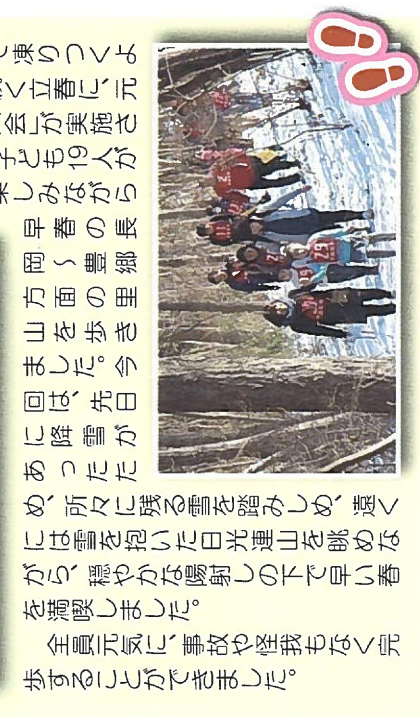
話が多岐にわたりますが、私は歌手中山みゆきが歌うヒット曲「糸」は名曲だと思っています。横の糸はわたし 織りなす布はいつか誰かを温めるかも しれないの 一節が心に響くからです。私には「まちづくりの応援歌」のように思えるのですが、皆さんはいかがでしょう。

平成30年 2月4日 (日)  
錦体育協会 会長 大野 一雄  
小坂西自治会中沢会長と役員の写真

## 早春を歩く 歩け歩け大会

例年にも増して凍りつくよ  
うな寒さの続く立春に、元  
氣よく歩け歩け大会が実施さ  
れました。大人6人、子ども19人  
が、2コースに分かれ、楽しみながら  
早春の長岡、豊郷方面の里山を歩きました。今回は、先日に降雪があったため、所々に残る雪を踏みしめ、遠くには雪を抱いた日光連山を眺めながら、穏やかな陽射しの下で早い春を満喫しました。

全員元気に、事故や怪我もなく完歩することができました。



さらぬところが多々あった、地域の行事や事業に参事業に接することでの力を加えたいと思っています。減、ぬるい湯が好きなので、中途半端、チャランポラン、加減があると思いで手を打とうと思っています。自治会は日々の生れる組織だと思っています。



仁一  
七早一年  
初めの計  
練への参加等を通じた安  
等を通じた生活環境の整  
祭への参加等による会員  
本に取り組んできました。  
支援、ご協力にあらため

# まちづく 2018

平成30年1月20日(土)  
ホテル東日本を会場に「錦地域まちづく  
り交流会2018」が  
開催されました。毎年  
恒例の錦地域まちづく  
り協議会主催のこの事  
業は、錦地区連合自治  
会および錦地区社会福  
祉協議会の協賛を得て  
開催されています。地



# 錦地区社会福祉協議会の活動報告

錦地区社会福祉協議会 会長 原 誠

錦地区の皆様には、当協議会へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成29年度錦地区社会福祉協議会の事業報告をさせていただきます。

## 平成29年度錦地区敬老会



敬老会であいさつする原会長



「コーラス八坂」の皆さんに美しいコーラスを披露していただきました

敬老会開催は社会福祉協議会の最大行事で6月中旬から準備を始め、連合自治会、まちづくり協議会、青少年育成会等の協力を得て、9月9日(土)に錦コミセンで地域の来賓を迎え、式典が開催されました。敬老招待者数は1,026名と錦地区の敬老者数が1,000名を超え、ご長寿の方が年々増えていることは大変喜ばしいことだと思います。約160名の方が式典に参加されました。地区内で百歳福寿を迎えられた方が1名いらっしゃいました、代理の方

が出席されました。

余興の部では、地元コーラス八坂と「紅葉」をみんなで合唱したり、栃木県シルバー大学のアフリカンダンスでは、初めての方が多かったようですが、強烈な歌声、リズム、ダンスに皆さん体を動かして楽しんでいました。毎年恒例の陽北中学校吹奏楽部の生徒たちが、お年寄りのために工夫を凝らした昔懐かしい歌謡曲の演奏には、皆さん拍手喝采で盛り上がり、楽しんで頂けたことと思います。

## ふれあい会食会

ひとり暮らし高齢者(約230名)を対象に昼食会3回、宅配給食3回を実施しました。昼食会は、福祉協力員の手作りで、季節に合わせた献立に工夫を凝らし、6月に「豚バラと大根のオイモヨ炒め」、10月に「シチューオンライス」、12月には地元のそば打ち名人による「年越しそば会食会」を錦コミセンで開催しました。食事の前には、地域包括支援センター今泉・陽北による「健康講和」、宇都宮市生活安全課の出前講座による「悪質商法対策の講和と寸劇」など、高齢者の健康や安心な生活に関する意識啓蒙にも取り組んでいます。食事の後には山本先生が毎回趣向を凝らし、いろいろな興味深いお話



いつもお世話になっている福祉協力員の皆様です



福祉協力員の方々の手作りの食事を楽しんでいただきました

を面白可笑しく聞かせてくれるので、参加された皆さんは毎回楽しみに期待しているそうです。より多くの皆様の参加をお待ちしています。

宅配給食は、昼食会に来られない方が大勢いるので、一人暮らし高齢者の声掛け見守りを兼ね、福祉協力員の協力を得ながら、お年寄りに優しく取扱いが簡単な季節に合った食材を吟味し、8月に砂糖無添加甘酒、11月にタニタ食堂減塩みそ汁野菜、2月にトロピカーナエッセンシャルズ(健康飲料)等、毎回2品を提供しています。

## 募金活動

地域の皆様にはそれぞれの趣旨をご理解いただき、社会福祉協議会会員募集1,397世帯、日赤社資募集1,281世帯、赤い羽根共同募金1,354世帯、歳末たすけあい運動募金1,273世帯のご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。

## 歳末たすけあい運動配分事業

歳末たすけあい運動募金の配分金を助成し、12月20日(水)に「錦小子どもの家クリスマスお楽しみ会」を開催、地域の子供達に楽しみの場を与え、レクレーションを通じ地域団体との交流の場を設け、子供達の心身の健全な育成を図るということで、役員がサンタクロースに扮し、約50名の子供達におもちゃや絵本等のプレゼントを手渡し、子どもたちのサンタクロースへの質問を受けたり、写真撮影をして楽しいひと時を過ごしました。子供達もとても喜んでおり、プレゼントのおもちゃで毎日楽しく遊んでいるとのことでした。



「錦小子どもの家クリスマス会」みんなで楽しく過ごしました

また、1月20日(土)ホテル東日本で毎年恒例の「錦地域まちづくり交流会2018」に共催ということで協力しました。まちづくり協議会構成団体38団体の会員150名が参加し、会食をしながら懇談、意見交換等で親睦を深めて、各自治会および各種団体の交流が深まり、有意義な時間を過ごすことができました。

## 一人暮らし高齢者の見守り

昨年、地域内で一人暮らし高齢者の孤独死が2件発生し、包括支援センター地域ケア会議において、一人暮らし高齢者の見守りについて協議した結果、民生委員と福祉協力員が協力し合うことが必要ではないかということで、9月に民生委員と各自治会1名の福祉協力員の会議を開催し、お互いに協力して地域の高齢者の見守りを行うことで一致しました。

以上、錦地区社会福祉協議会の主な活動について報告しましたが、その他地域関係諸団体への活動助成ならびに地域の福祉の増進に努め、多くの事業を行っております。